

第3回 日高市巾着田利用調整協議会 会議資料



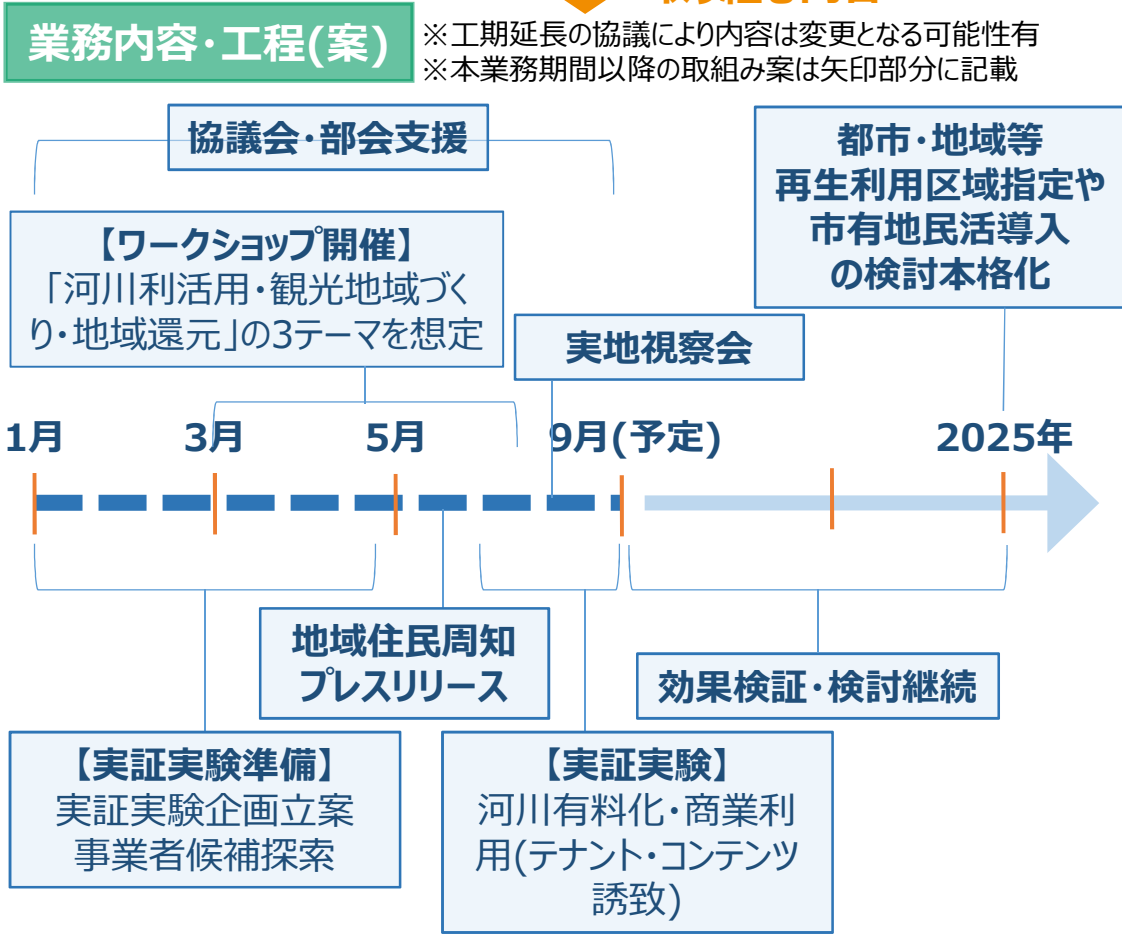
2024年2月15日

【名称】川の再生推進工事(日高地区河川利活用検討業務)その2 **【主な業務】** ① 協議会・部会の運営企画・開催支援
【事業期間】2024年1月～3月(同年夏頃まで延長予定) ② 河川利活用実証実験の企画・開催支援
【受託者】(株)地域デザインラボさいたま ※協力：(株)埼玉りそな銀行 ③ 民間企業向け実地視察会・ワークショップの開催

本業務実施の目的

- ✓ 協議会支援を通じて**利活用検討**を継続。また、巾着田の商業利用の在り方や実証実験の企画に部会が参画することで、地域の関係者の合意形成や意向の反映を実現。
- ✓ 実証実験や企業向け実地視察会の開催を通じて、**有料化・商業利用の効果**や**民活導入の可能性**を検証。
- ✓ ワークショップの開催により、地域の関係者の**「観光地域づくり」に関する理解醸成**を促進。

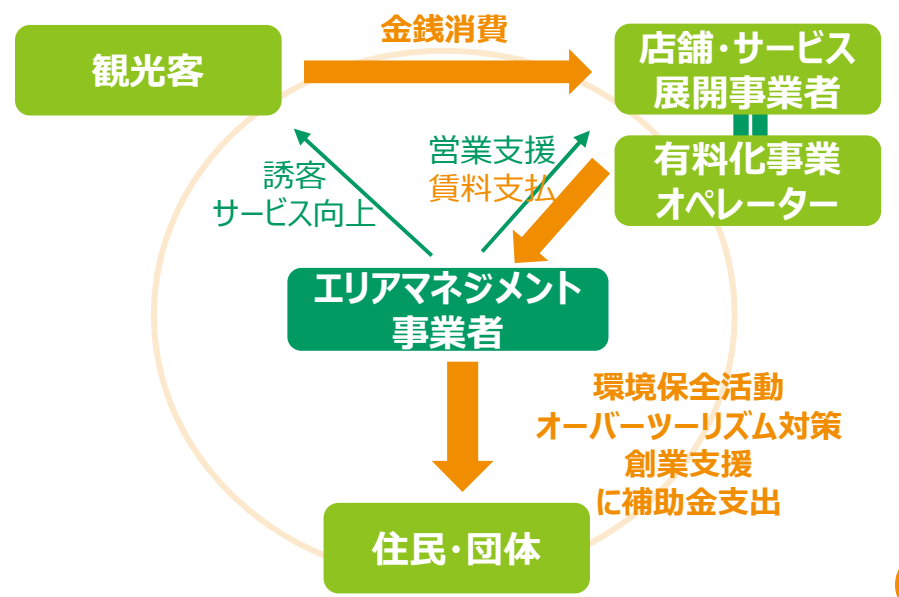
取り組み内容



目指す姿

商業利用・循環モデル ※本業務では7～8月の実験実施を想定。

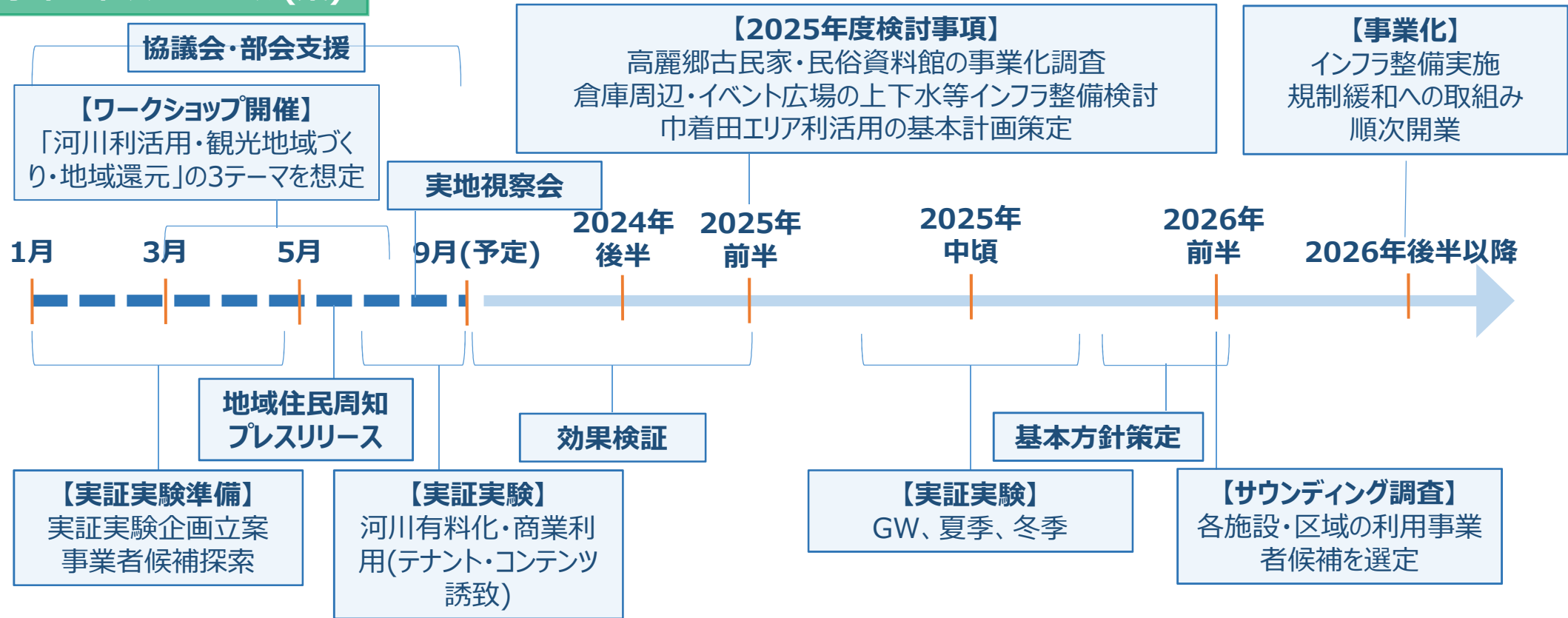
巾着田のオンシーズン(5月～10月)をターゲットとした民間事業者の進出を促進し、徐々に活用期間の拡大を図る。河川区域及び市有地を「エリアマネジメント事業者」が占有し、民間事業者に貸出することで「地域内経済循環」の創出を目指す。



ポイント

- ✓ 2024年下旬に実証実験の効果検証実施と、今後の取組に関する基本方針を策定。
- ✓ 2025年度中に巾着田倉庫、イベントゾーン、高麗郷古民家等に必要となるインフラ・規制緩和を検討。

事業全体スケジュール(案)

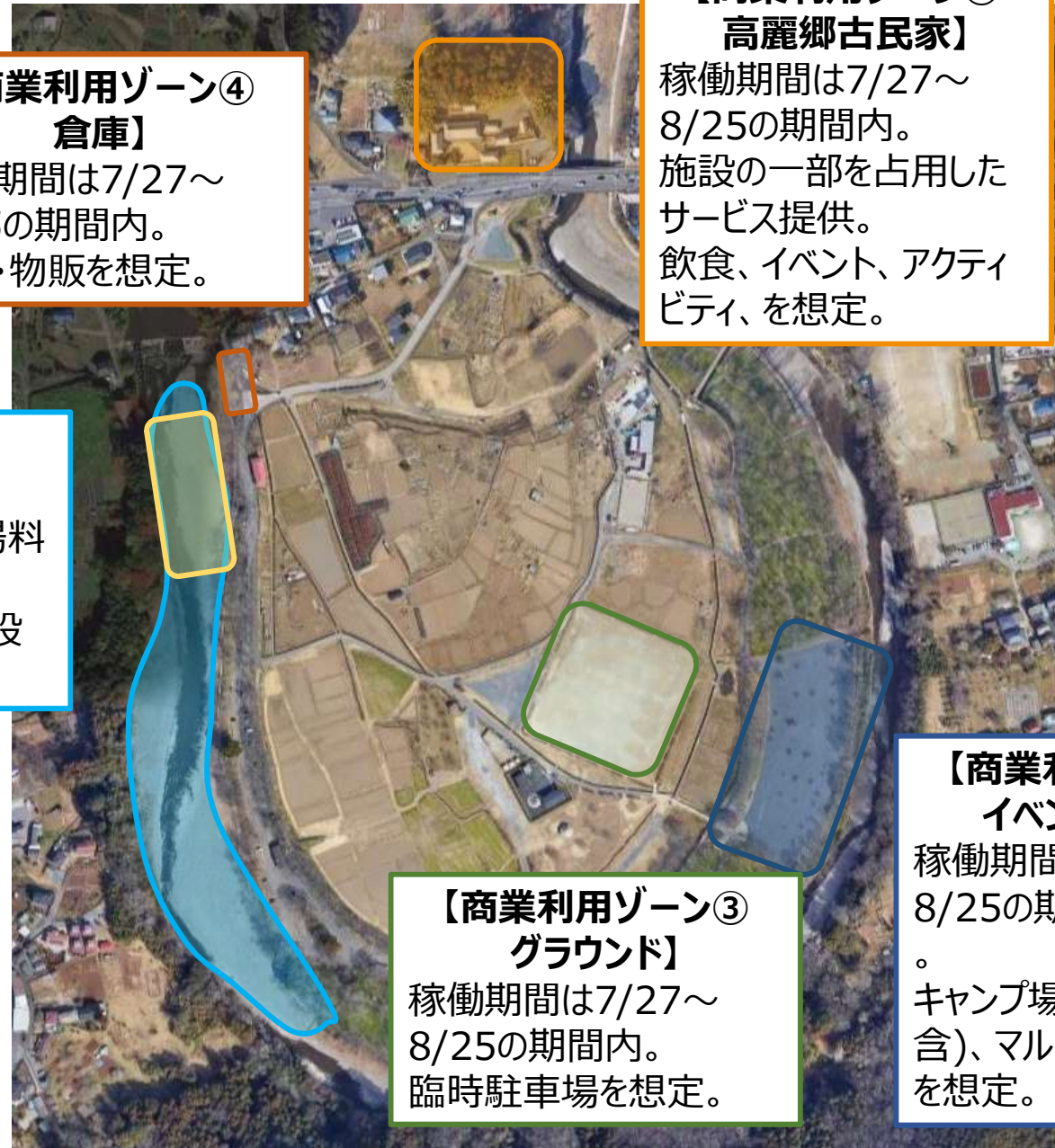


【ラボたまの当面の動き(2~3月)】

- ✓ 実証実験に関わる事業者の探索、実施体制の構築や、関係団体向けの説明
- ✓ 第1回ワークショップ(観光地域づくり)の開催企画・実施準備(4月中旬に実施予定)

実施手法

		プラン①	プラン③	予備プラン(要検討)
有料化	事業受託者	市内関係団体	一般の民間事業者	ラボたま
	委託方法	備品購入等を予算措置 事業運営は独自採算 (ラボたま・市がサポート)	備品購入等を予算措置 事業運営は独自採算	備品購入・人件費等を予算措置 事業収支は市に帰属
	人員の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣大学等の学生アルバイト ・前業務時のヒアリング先からの人員募集 ・商工会、観光協会会員事業者からの公募、イベント企画会社への外部委託 ・ラボたま、行政関係各所からの補助要員派遣 		
	サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ回収 ・バーベキュー用品の貸出(事業者が見つかる場合) ※貸出サービスを行う事業者との連携も検討 ・食材の提供(事業者が見つかる場合) ※市内小売店の出張販売又は配達等も想定 		
	成果検証	紙媒体・予約システムを活用した利用者アンケート・事業受託者による収支検証		
商業利用	事業受託者	実施個所毎に公募又は誘致により出店希望者を決定		
	実施個所	①高麗郷古民家 ②イベントゾーン ③倉庫 ④その他任意の河川区域 ⑤グラウンド		
	実施内容	別添マップを参照		
	委託方法	各ゾーンの管理者が無償で使用を許可 ※事業運営は独自採算		
	成果検証	出店時の条件として、共通利用者アンケートの配布・各事業者の売上や来場者数等の簡易レポート提出を依頼		

**【商業利用ゾーン④
倉庫】**

稼働期間は7/27～
8/25の期間内。
カフェ・物販を想定。

**【商業利用ゾーン①
高麗郷古民家】**

稼働期間は7/27～
8/25の期間内。
施設の一部を占用した
サービス提供。
飲食、イベント、アクティ
ビティ、を想定。

【有料化ゾーン】

稼働期間20日。
BBQ利用にのみ入場料
を徴収。
親水ゾーン(黄線)を設
定。

**【商業利用ゾーン③
グラウンド】**

稼働期間は7/27～
8/25の期間内。
臨時駐車場を想定。

**【商業利用ゾーン②
イベントゾーン】**

稼働期間は7/27～
8/25の期間内。
。
キャンプ場(夜間利用
含)、マルシェ等イベント
を想定。